

《履修上の留意事項》遠隔授業と面接授業の併用

《担当者名》○大友 芳恵 川勾亜希奈（非） 熊谷 良介（非）

【概 要】

本科目では、厚生労働省によって示されている社会福祉士養成課程におけるシラバス例を踏まえ、以下の6点をねらいとして展開する。

- (1) 現代社会における社会保障制度の課題（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む）について理解する。
- (2) 社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する。
- (3) 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。
- (4) 社会保障制度の体系と概要について理解する。
- (5) 年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。
- (6) 諸外国における社会保障制度の概要について理解する。

【学習目標】

上記6点のねらいに連動する形で、学習目標としては以下の6点について理解し、その内容を的確に「説明できる」ことを目指す。

- (1) 現代社会における社会保障制度の課題（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。）
- (2) 社会保障の概念や対象及びその理念
- (3) 社会保障の財源と費用
- (4) 社会保険と社会扶助の関係
- (5) 公的保険制度と民間保険制度の関係
- (6) 社会保障制度の体系（特に年金・医療・介護の各社会保険制度）

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	イントロダクション	私たちの生活と社会保障	熊谷
2	社会保障制度を取り巻く状況①	人口動態、少子高齢化	熊谷
3	社会保障制度を取り巻く状況②	家族の多様化、労働環境の変化	熊谷
4	貧困 ①	女性の貧困問題、子ども・若者の貧困問題	熊谷
5	貧困 ②	高齢期の貧困、障害児者の貧困問題	熊谷
6	社会保障の成り立ち①	欧米における社会保障の歴史的展開	熊谷
7	社会保障の成り立ち②	日本における社会保障の歴史的展開	熊谷
8	社会保障の概念や対象およびその理念	社会保障の概念と理念、社会保障の役割と機能	熊谷
9	社会扶助と社会保険の関係	社会扶助とは何か、社会保険とは何か	熊谷
10	社会保険と民間保険①	保険の機能と構造	熊谷

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
11	社会保険と民間保険②	民間保険の種類、民間保険と社会保険の共通点と異なる点	熊谷
12	社会保障の財源と費用①	社会保障給付と社会支出	熊谷
13	社会保障の財源と費用②	国民負担率、社会保障の財源	熊谷
14	諸外国と日本の社会保障	福祉レジーム	熊谷
15	社会保障制度の課題	社会保障の給付と負担の問題	熊谷
16	社会保障制度の体系①	年金保険制度の概要	大友
17	年金保険制度の具体的内容①	国民年金制度	大友
18	年金保険制度の具体的内容②	厚生年金制度①	大友
19	年金保険制度の具体的内容③	厚生年金制度②	大友
20	社会保障制度の体系②	家族手当制度の概要	大友
21	社会保障制度の体系③	雇用保険制度の概要	川勾
22	社会保障制度の体系④	労災保険制度の概要	川勾
23	社会保障制度の体系⑤－1	医療保険制度の概要	川勾
24	社会保障制度の体系⑤－2 医療保険制度の具体的内容①	被用者保険	川勾
25	社会保障制度の体系⑤－3 医療保険制度の具体的内容②	国民健康保険	川勾
26	社会保障制度の体系⑤－4 医療保険制度の具体的内容③	後期高齢者医療制度	川勾
27	社会保障制度の体系⑥	介護保険制度の概要 生活保護制度の概要	川勾
28	社会保障制度の体系⑦	社会福祉制度の概要	川勾

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
29	社会保障制度の体系⑧	諸外国における社会保障制度の概要①	川勾
30	社会保障制度の体系⑨ まとめ	諸外国における社会保障制度の概要②	川勾

【評価方法】

- (1) 前期中間テスト(50%)、後期定期試験(50%)の総合100%で評価し、60点以上を単位認定の最低条件とする。
- (2) 社会福祉士国家試験科目であるため、評価は厳格に行う。
- (3) 学則の規程に基づく出席条件をクリアすること。ただし、成績評価には加味しない。

【備考】

教科書：以下のテキストを使用するので、初回講義時までに必ず購入すること。

編著者／広井良典・山崎泰彦「MINERVA社会福祉士養成テキストブック『社会保障（第3版）』」ミネルヴァ書房

その他：この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「社会保障」に該当する。

また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「人間と社会」の領域における「社会の理解」に該当する。

教職課程（公民）では、教科に関する科目の「社会学、経済学（国際経済を含む。）」に該当する。

【学習の準備】

- (1) 日常的にニュースや新聞等のマスコミで報道される社会保障関係の情報をチェックし、社会情勢についても関心を持つこと。
- (2) 次回の授業で扱う内容について、キーワードを確認し、事前にテキストを読んでおくこと（所要時間45分～90分程度）。
- (3) 授業で提示する事前・事後課題(所要時間45分～90分程度)の学習を行うこと

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2

【実務経験】

大友芳恵（社会福祉士）、川勾亜紀奈（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

日々の生活をするうえで不可欠な社会保障の仕組みや各種制度に関しての基本的知識を講義する。